

「妻木町への愛着と誇りをもてる子ども」を目指して

妻木小学校では「妻木町への愛着と誇りをもてる子ども」を地域とともに育てることを目指しています。子どもたちが地域への興味や関心を抱くことを願い、総合的な学習の時間『ひかり学習～地域を学ぶ時間～』を通して、妻木町の自然・人・産業・伝統・歴史など多くの分野に触れ、体験しています。

5月には「ひかりデー」と呼ぶ体験活動の時間が1日あります。こうした体験活動を元に、地域への理解を深めるための学習を積み重ね、まとめとして年度末に発表会や交流会を行います。そして、次の学年につなげていきます。

妻木町への愛着と誇りをもてる子どもを、地域の方とともに長い時間をかけて育てています。

3年生『妻木の自然・地域大発見』

2日間かけて妻木町を南と北に分けて探検します。八幡神社や妻木城さむらい屋敷跡などの歴史のある場所を訪れ、歴史と文化の里に住んでいることを実感します。



4年生『妻木の人と歌声でつながろう』

妻木公民館でお年寄りの方と歌声を披露したりゲームで交流をしたりします。妻木町を支えてくださった皆さんと一緒に触れ合い、これからを背負う世代として地域の方と絆を深めます。



5年生『妻木の伝統、妻木の技を実感する』

陶磁器工場を見学したり、ろくろ体験をしたりして地産産業である陶磁器を中心に、伝統を守っている人や製品が作られていく過程などを学習します。年度末には、地元のお茶の先生を講師に、各自が作り上げた抹茶茶わんでお茶会を開きます。



6年生『妻木のまちしらべ、まち発信』

しろやま登山をします。頂上から妻木町を一望しつつ、地元の方を講師に、妻木町の歴史や妻木の殿様であった妻木頼保が奈良奉行として東大寺大仏殿を再建したことなど、興味深い話を聴きます。



給食センター掲示板

試食会が人気です

「食欲の秋」といわれるように、子どもたちの食欲も増し、給食もよく食べてくれるようになりました。各学校の母親委員会を中心に開催されている「学校給食試食会」。内容は、学校での子どもの給食の様子を見たり、給食センターの調理場の見学をしたりと、それぞれ工夫されています。

先日は、土岐津小学校が学校の振替休日に親子で給食センターの視察をしました。

土岐津小学校 親子給食試食会



衛生にとっても気を使っていることが分かりました。

39人の職員で6千人分の給食を作っているなんてすごいと思いました。

>>> 学校給食展示会が開催されます

11月18日(日)中津川市の東美濃ふれあいセンターで行われる「ひがしみの農業祭」において「第2回岐阜県の学校給食あゆみ展 in 東濃～東濃の味を子どもたちへ～」が開催されます。

岐阜県の学校給食の歴史、現在の学校給食や食育実践例の紹介、子どもたちが楽しむ体験コーナーなどがあります。給食のレシピや米粉パンの配布、ゲームの景品もあります。ぜひ、ご家族でお出掛けください。